

研究指導分野 Research Guidance

論文作成のため、各自の研究分野に応じて、指導教員の研究指導を受けること(各学期週2時間)。指導教員等についての詳細は、履修要項を参照すること。

You must receive research guidance from an academic advisor according to your research field (2 hours per week each semester) in order to prepare your Master's Thesis or Doctoral Dissertation. For details on academic advisors, etc., please refer to the Course Guidebook.

教員名 Names of faculty members	研究指導領域・分野 Areas and fields	研究指導要領 Research topics
浜崎 桂子 HAMAZAKI KEIKO	文化表象研究, 移民文化研究	他者(異文化, 異民族, 異性)表象の歴史と現在, 移民による文化発信と社会背景との関連について, ジェンダー, オリエンタリズム, ポストコロニアリズムの問題関心から分析する。
星野 宏美 HOSHINO HIROMI	音楽学, 西洋音楽史, メンデルスゾーン研究	自筆譜や初版楽譜, 書簡や批評などの原典資料調査と, 楽曲分析を軸とした作曲家作品研究
池田 伸子 IKEDA NOBUKO	日本語教育, 教育工学	メディアを利用した日本語教育, ビジネス日本語教育, e-Learning, マンガやゲームの日本語教育利用, ディスレクシアを抱える学習者に対する日本語学習支援, 異文化理解につながる日本語教育等
石黒 武人 ISHIGURO TAKETO	異文化コミュニケーション研究, 組織ディスコース研究	組織における異文化コミュニケーションの特徴・問題点とその成立過程を, ライフストーリー・インタビュー, 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ, 談話分析等の質的研究法を用いて分析・考察する。
石井 正子 ISHII MASAKO	国際協力, 紛争研究, 平和構築, 東南アジア地域研究,	武力紛争地域に対する国際社会の人道支援と平和構築支援の理論と実践, 地域研究のアプローチによる武力紛争地域の分析
石川 文也 ISHIKAWA FUMIYA	知の伝達プロセスの分析, 言語インタアクション, 言語教育・言語政策	・ことばによる「知」の伝達と, 表象および伝達参加者のアイデンティティ形成プロセスに関する言語インタアクションの視点からの分析 ・新自由主義的教育改革に関する批判的考察: 日本の大学における外国語教育のエピステモロジー, ヨーロッパの言語政策, フランスの教育制度
河合 優子 KAWAI YUKO	異文化コミュニケーション論, 多文化社会論	日本社会における多文化社会の構築, メディア言説および人々の日常実践としての人種主義とナショナリズム, マイノリティの文化的アイデンティティ, メディアと「他者」理解
小山 亘 KOYAMA WATARU	コミュニケーション論, 記号論, 言語人類学, 談話分析	言語を含むコミュニケーションを基軸に据えた, 社会文化の様態・構成・変容などについてのパース記号論系言語人類学的研究

教員名 Names of faculty members	研究指導領域・分野 Areas and fields	研究指導要領 Research topics
黒岩 三恵 KUROIWA MIE	美術史、視覚文化論	西洋と中心とした美術史(絵画、彫刻、建築、工芸など)の研究: 様式論、イコノグラフィ、学際的なイメージ研究・視覚文化研究、美術に加え写真、広告、地図、動画等の多様な視覚媒体の構成や機能面からの分析
日下部 尚徳 KUSAKABE NAONORI	開発社会学、国際協力論、開発援助論、南アジア地域研究	国際援助機関による途上国支援に関する理論と実践。地域研究および社会学の手法に依拠した貧困問題や難民問題の分析。NGOやソーシャルビジネスによる開発手法の理論と評価分析。
イ, ヒャンジン LEE HYANGJIN	映画研究と文化社会学	National /Transnational Cinema (North and South Korean, Japanese). Feminist Film Criticism. The Korean Wave and Global Online Service International Film Festival and Co-production.
マーティン, R MARTIN, RON R.	English language education, teacher education, language learning motivation	The relationships among and between language educational policy, learning/teaching theory, and teaching practice; the development of achievement motivation and its implications on language learning.
丸山 千歌 MARUYAMA CHIKA	日本語教育, 学習者要因	PAC分析法, TEM/TEAを活用した移動する学習者をとりにくく日本語教育研究, 高等教育機関における日本語教育, 海外の日本語教育機関との協働による教育開発
松下 佳世 MATSUSHITA KAYO	通訳翻訳研究	ニュース翻訳, メディア通訳, 通訳翻訳におけるリスク管理, 通訳コーパス研究, 通訳とテクノロジー
森 聡美 MORI SATOMI	言語習得、バイリンガリズム	バイリンガル児の言語発達における言語間の影響, 異言語間家族における言語選択の決定要因, モノリンガル幼児の言語習得
師岡 淳也 MOROOKA JUNYA	コミュニケーション学	レトリック理論・批評, コミュニケーション学の歴史研究, ディベート実践・教育の研究
中田 達也 NAKATA TATSUYA	第二言語習得、英語教育学	外国語における語彙の習得において、学習の間隔・種類・頻度などの様々な要因が与える影響。イディオム・コロケーション・句動詞など、外国語における定型表現の学習。
奥野 克巳 OKUNO KATSUMI	文化人類学, 宗教人類学, 環境人文学	フィールドワークを伴う文化人類学, 存在論的人類学, マルチスピーシーズ人類学, アニミズム・呪術・宗教, セックスとジェンダー, 東南アジア島嶼部諸社会, 狩猟・農耕・牧畜などの生業を軸とした社会・文化
佐藤 邦彦 SATO KUNIHICO	言語学, スペイン語学, 語彙論, 意味論	言語の意味と構造, 特に語の意味の分析・記述や, 語彙体系のとらえ方, 言語における新語の導入や形成などについての研究
高橋 里美 TAKAHASHI SATOMI	第2言語習得理論 中間言語語用論	英語コミュニケーション能力を習得する際の, インพุット形態と学習者の認知活動の関係, さらにこの関係に及ぼす学習者の個人差要因の影響について

教員名 Names of faculty members	研究指導領域・分野 Areas and fields	研究指導要領 Research topics
武田 珂代子 TAKEDA KAYOKO	通訳翻訳研究	通訳翻訳の社会的・文化的側面, 通訳翻訳の歴史, 通訳翻訳教育, 通訳翻訳政策, 視聴覚翻訳, 紛争下の通訳翻訳, 通訳者・翻訳者の職務倫理と責任
山田 優 YAMADA MASARU	通訳翻訳研究	翻訳テクノロジー(CATツール、機械翻訳、LLM)、ポストエディット(MTPE)、翻訳プロセス研究(TPR)、翻訳の外国語教育への応用(TILT)、字幕翻訳研究(AVT)、翻訳のメタ言語構築(Metalanguages for translation)
山口 まり子 YAMAGUCHI MARIKO	哲学(主に言語哲学、行為論、認識論、存在論)、儀礼研究	主に言語哲学、行為論、認識論、存在論、宗教の哲学、芸術の哲学、科学哲学で扱う諸問題。中国古代思想、仏教、修験道の思想による祭祀の分析など。
チョウ Y. ZHAO YUANHAO 趙元昊	Folkloristics	Traditionality and Folk Life; Local Knowledge and Practices; Intangible Cultural Heritage; Life Story/Oral History